

event news

2013年8月イベントのお知らせ

「資金相談会」(8月17日午前中。先着1組様限り)

「初めての家づくり教室(ハツイエセミナー)」

「キンカンの工作室ミニチュア制作」

「構造見学会(東区中山中町)」

「住まい手さんの家見学会(安佐南区)」

の5つを開催します。

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

『初めての家づくり教室』

■開催日：8月17日(土)

■開催時間：午後2時～4時

■場所：Gallery 様(エヌテック事務所隣)

■事前にご予約をお願い致します。

「家づくりでお悩みのあなたに！」
あなたが家づくりを始めるにあたって、是非知っておいていただきたい内容を集めたセミナーを開催いたします。

なぜこのセミナーをご紹介しますのかというと、家づくりは本当に高価で一生に一度の大きな買い物であるにもかかわらず建ててから「失敗した」や、「後悔している」と感じている人が大変多いからです。

このセミナーの一部を紹介すると

- ・日本に住んでいる私たちが絶対に知っておくべきこと
- ・一生快適で、光熱費一生ゼロの夢の家のつくりかた
- ・「今、太陽光パネルをつけておけば安心」の落とし穴
- ・「一流ハウスメーカーだから安心に違いない」の罠
- ・「まじめに家づくりをしている建設会社の選び方とは？」

【イベントへのご参加方法】

事前にご予約が必要な場合、下記のいずれかにてお申し込みをお願い致します。

・弊社ホームページのフォーム(URL <http://www.ntecj.co.jp/>)

・エヌテック代表メール(info@ntecj.co.jp)

・エヌテックへのお電話(082-509-5771) 担当：佛崎(ぶつざき)・松下まで

など家づくりを始める前に知っておいていただきたいことばかりです。定員は、限定5組(申し込み順)となっておりますので今すぐお申し込みを！



セミナーの様子

『構造見学会』

■開催日：8月18日(日)

■開催時間：午前10時～午後3時

■場所：広島市東区中山中町

■事前にご予約をお願い致します。

「決める前に必ず見ておこう。」

家は何十年も暮らすことになる家族の基盤です。子や孫の代の事まで考えると、ゆる

ぎない構造に支えられた“安心”と“安全”を軽視するわけにはいかないはず。完成後は隠れてしまう部分こそ、しっかりとご自身の目で確認ください。

『住まい手さんの家見学会』

■開催日：8月25日(日)

■開催時間：午前10時～午後3時

■場所：広島市安佐南区山本7丁目

■事前にご予約をお願い致します。

毎回大好評をいただいております、住まい手さんの家見学会。今回は、大胆な片流れ屋根が印象的なコンパクトなお住まいです。1階の奥まった場所にある和室が、夏は涼しく冬は暖かく、ぐっすり眠れる寝室になっています。暑い夏、寒い冬をどう過ごされているのか、暮らしの実際をぜひお話を聞いて頂きながらご体感下さい。参加ご希望の方には、後日案内図をお送り致します。



ソーラーシステム「そよ風」を搭載したお住まいです

超快適 & ゼロエネ研究所 通信 vol.07 AUG. 2013

株式会社エヌテック

〒733-0007

広島市西区大宮 2-13-7

TEL:082-509-5771 FAX:082-509-5772

E-mail:info@ntecj.co.jp

HP:http://www.ntecj.co.jp

超・快適への道「通風編」2…風はいつでも快適？

「通風はタイミングが重要」

いよいよ始まった夏本番！毎日外気温が30℃超えの日が続いております。皆様、高温で体調を崩されませんよう気を付けて下さいませ。

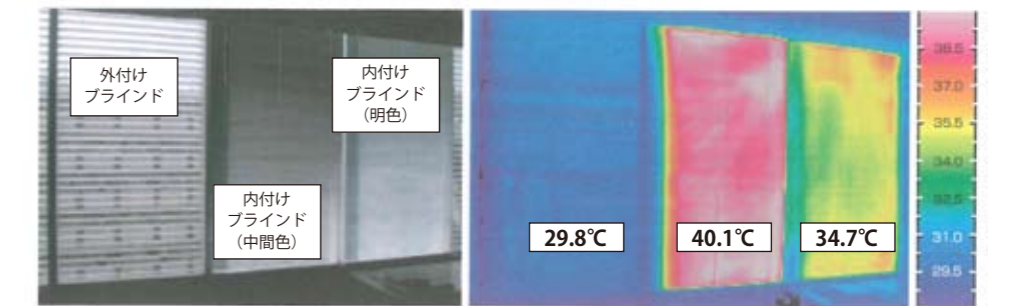
前回に続いて「通風編」の続きです。猛暑の日でも風を入れて涼を取りたい方は多いようです。さすがに外気温が33℃～35℃くらいになる午後は、建物の周囲も相当な熱を持っており、そんな時に「風」を室内に取り込むと“熱風”を室内に入れてしまうことになり、室温上昇を招きます。

入ってきた熱は、高気密高断熱になるほど逃げにくく、クーリングのため冷房の使用時間が増える原因にもなります。そもそも、外部の熱の影響を受けにくく設定されている高気密高断熱のお住まいにおいての「夏の風の利用方法」は、“昼間は熱気を室内に



入れないようにして室温上昇を抑え、外気温が下がった夜間の風を取り入れる”が王道です。昼間の日射を建物内部に入れないよう「日射遮蔽が十分に出来ていること」が大前提です。熱の出入りが最も多い(熱的に一番弱い)窓を重点的に遮蔽してやる

ことがコツです。「自然の風」がもたらしてくれる爽やかさ、気持ち良さは機械設備では得られないものです。建物の特徴を理解した上で、自然の恵みである心地よさ“通風”を上手く利用して本質的な快適を得て下さい。



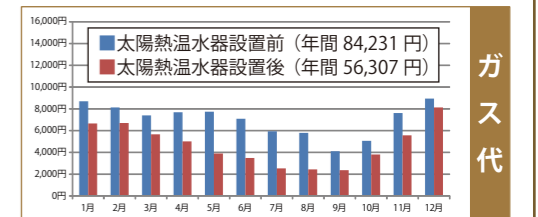
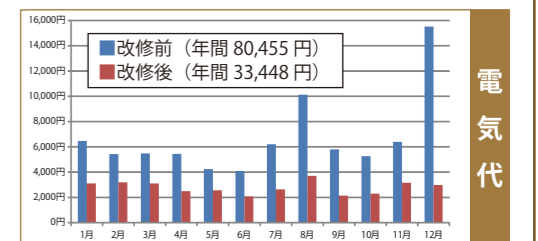
ブラインドを設置した場合の窓面温度の比較(自立循環型住宅への設計ガイドラインより)

この写真のように、建物の外側で熱を遮ると、室内で遮った場合よりも窓の温度が低くなります。つまり、それだけ屋外の熱が建物内部に侵入することを防いでいることがわかります。約10℃も温度が異なることを想像しただけでも外部で遮蔽することの重要性を感じます。外部遮蔽部材としては、「すだれ」「よしず」「タープ」「寒紗紗」などは比較的容易に設置が可能で、「ルーバー雨戸」や「外付けブラインド」などは建築工事が必要となります。最近では、様々な商品がホームセンターで取り扱われているようです。「グリーンカーテン」は、日除けの他に種類によっては収穫も味わえる醍醐味がありますね。いづれにしても、楽しく快適に暑さをしのいでこの夏を乗り切りたいものです。

ゼロエネ研究所レポート

しばらく中断しておりました「研究所レポート」、今回は2本立てでの登場です。まず最初は、松下邸の改修前後の電気代の実態についてです。右上のグラフをご覧ください。改修前は年間80,455円に対して、改修後は33,448円に削減しました。東広島の寒い冬を過ごすため、改修前は灯油での暖房以外に、エアコンも使用していましたが、断熱改修後はエアコンの使用がほとんど無くなり快適な冬を過ごす

しています。次は、ガス代についてです。改修前後ではガス代の変化はさほど無かったので、太陽熱温水器を設置してみました。設置前後の実態が右下のグラフです。設置前は84,231円、設置後56,307円に削減されました。太陽の熱という自然エネルギーを使って省エネ&快適に年中過ごせることがなによりです。改修後の実態が明らかになったので、これから更なる工夫の研究は続きます。



「ひろしま満点ママ!!」に出演

「キンカンの工作室」ミニチュア制作教室、8月は2回開催!!

好評をいただいている「キンカンの工作室」こと、“萩谷幹”先生によるミニチュア制作教室は8月に第四回・第五回の2回、特別開催いたします。

第四回 8月26日(月)はお子様向け教室。夏休みの工作課題を何にしよう?と悩んでいるお様にぴったりです。

第五回 8月28日(水)は通常のお教室となります。ミニチュアを制作したい方はどなたでもご参加ください。まずはエヌテックまで参加希望のご連絡をお願い致します!

「キンカンの工作室」ミニチュア制作教室 第四回(お子様向け)
日時：8月26日(月)午前10時～12時
制作品：えび天そばとにぎり寿司
料金：2,000円/1名(材料代・講習料込)

第五回(通常)
日時：8月28日(水)午前10時～12時
制作品：中華ラーメン定食
料金：3,000円/1名(材料代・講習料込)
場所：Gallery「様」(エヌテック事務所横)
※いづれも先着8名様限定です。
※駐車場がありませんので、お近くの100円パーキングをご利用下さい。

8/26 制作品(お子様向け)

8/28 制作品(通常)

1円玉!!



My Topics

エヌテックメンバーからの家づくりトピックス

『基礎工事』

土井長元気

工務部の土井長です。今回は、新築物件の基礎工事についてです。7月から東区中山中町にて、T様邸の新築工事が始まり



ました。弊社の基礎工事を一手に引き受けていただいているのが重常建設さんです。この暑い時期の基礎工事では、気温が高過ぎる昼間を避ける為、コンクリート打設は朝一からの作業です。重常社長が自ら乗ってきた『ポンプ車』。丁寧に、また綺麗に扱



かわれている為、いつまでたっても新車にみえる程です。いつも現場の環境整備が完璧な重常建設さん。環境整備は、こう言った事にも通ずるものがあります。そして、重常社長自らがポンプ車を操ります。手慣れたものです。一見、重



そうに見えないかもしれませんが、配管の中にはコンクリートも入っている為、重量は相当なものです。どちらかと言うと瘦せている重常社長はボクサー系のタイプ。その配管を脚元が悪い中、自由自在に持ち運びます。良く動き、底知れぬ体力の持ち主です。そして、重常建設の職人さん達。基礎のコンクリート打設は、ベース部分と立上り部分とで2回に分けて打設しています。その打ち継ぎが、密着する為に打ちっぱなしでは無く、しっかりとコテ

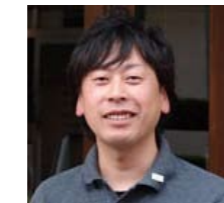
押さえしておきます。一般的には、このような作業工程を行っている基礎屋さん、なかなか居ません。ほとんどの基礎さんは打ちっぱなしだと思います。打設したところから、オートレベルとトンボを使って均一に平らにしていきます。その後、ひび割れが起きない様に、しっかりと金コテで押さえしていきます。暑い中の作業でしたが、手を休める事無く、順調に美しい基礎が完成しました。厳しい暑さと日差しの中、今回も基礎に対する拘りが見えた現場となりました。



『玄関ドアの再塗装』

佛崎 浩平

お客様サポートの佛崎です。先日、玄関ドアの再塗装工事を行いました。お引渡しして約9年が経過したお住まいです。この当時よく使っていたスウェーデンドア。木の素地にダークグレーの塗装を施してありました。今回は、がらりと色を変えるため塗装職人の蓮池さんが万全の養生で下地処理、仕上げと進めて行きます。新築工事でも改修工事でも、エヌテックはたくさん木を使いますので、それに合わせて塗装工事も重要になってきます。蓮池さんは、いつも丁寧に



万全の養生で再塗装開始



仕事をしてくださるので安心して任せられます。この度の玄関ドア色の検討も、ご希望の2色から最も廻りの雰囲気と合うものを、お客様と一緒に検討しました。実際、施工中の段階で気に入って頂けたようです。また、新たな装いでお客様をお迎えます。帰宅して来た時も、気分が変わって良いですね！



『光熱費ゼロ住宅とゼロエネルギー住宅』

谷口 護

設計担当の谷口です。7月28日に今年の夏にお引渡しをした東広島のT様邸で住まい手さんの家見学会を行いました。T様、ご協力いただき誠にありがとうございました。T様邸は、エヌテックが計画したゼロエネルギー住宅第一号のお住まいです。さて、「ゼロエネルギー住宅」とよくこの紙面等でお話していますが、よく混同されるのが「光熱費ゼロ住宅」です。各ご家庭に毎月届く電気代やガス代の請求分以上に、例えば太陽光発電で発電して売った金額が上回れば、光熱費としては、収支ゼロもしくはプラスということになります。光熱費ゼロ住宅はこの点を考慮している住宅というわけです。請求金額と一緒に電気は〇〇kWh、都市ガスは〇〇㎡と記載があります。実はこれ、二次エネルギーと呼ばれるものです。そしてゼロエネルギー住宅とは、二次ではなく一次エネルギーで考えた場合のエネルギー収支を考慮した住宅です。一次エネルギーとは、石油・石炭・天然ガス・水力・原子力などエネルギーの元々の形態を指します。



上図のように、二次エネルギーとして、家庭に届くまでに約60%も利用されないロスとなるエネルギーが存在します。となると、例えば太陽熱給湯システムは、太陽の熱という自然のエネルギーを巧みに利用した優れた設備機器だと感じます。ちなみにT様邸、エヌテックが計画時に予測したのは、太陽光発電を入れて年間光熱費が80,690円の収益、一次エネルギー消費量は4.83GJも余分に造り出せるものでした。一年間住んでの実際は、89,483円の収益と、14.50GJも余分に造り出した驚きの結果でした。もちろん快適に暮らせてです。



利用されない熱・送電ロス 約60% 約40% エネルギー利用効率

「蜂の駆除」

渡部 良佑

設計担当の渡部です。新築工事の地鎮祭に先立ち、テントの設営に行った際の出来事です。設営後、敷地奥の倉庫横の茂みの中にあるものを見つけました。アシナガバチの住まい！そして大家族です！地鎮祭は子ども達も参加ということもあったので、急遽蜂駆除を実施。炎天下の中、長袖長ズボンに。そして協力業者の七福の西村さんに対処法を相談。ホームセンター等に売っているスプレーで十分対処できるということで、急ぎ購入したものがこれです。最近はいろいろあり悩みました。決め手はデザインです！



対処法はまず巣から4メートルくらい離れたところから巣をめがけスプレーを。アシナガバチは基本スプレーをかけても襲わず、その場から逃げるようです。飛び回る蜂もスプレーをかけると逃げて行きます。巣から蜂がいなくなったら巣を取って、帰ってくる蜂にはスプレーをかけて追い払う。そうすると残りの蜂も帰って来なくなるとのこと。これが西村さんから伝授して頂いたアシナガバチ対処法。あまり近づきすぎると、アシナガバチでも刺すことがあるので気を付けてとのことでした。そしていざ実践！正直アシナガバチでもかなり怖かったですね。今回はスプレーがかなり強力だったのが分かりませんが、飛び立つ前に全て絶命してしまいました。可哀想ですが、無事駆除完了です。今回はアシナガバチということもあり対処出来ましたが、スズメバチなど危険な蜂もいるので、出来るだけ自分で駆除しようなど、思わない方がいいかもしれません。



今月のすてき、快適！

設計チーフ 松下 陽子



「扇子（せんす）」

暑さもいよいよ佳境?!ですね。室内での涼の取り方は、エアコン（冷房）、扇風機が主流ですが、お出かけ先で手軽に涼しさを得るアイテムとして愛用されている方も多いのが、「扇子（せんす）」ではないかと思ひます。夏の省エネに注目が集まって以来、扇子も大人気の様です。同じく“手を使って涼しさを得るアイテム”の「団扇（うちわ）」と違う点は、『小さく折りたたみ持ち運びに便利』ってことではないかと思ひます。たたくコンパクトにバッグに収納できる合理性、さっと取り出して掲げた時の「扇型」の形も美しく、柄でオリジナリティや季節感も楽しめるオシャレなアイテムだと思ひます。また、素材を変えることで冬でもOK。さっと扇子を取り出して、優雅にお出かけは季節の風物詩といひますが、夏ならではの風情がありますよね。実際に的確に風を起こし、適切な涼を得ることが出来ますし、風の強弱も自分の好みで調整可能な実用品としても優れたお品だと思ひます。猛暑を乗り切るため、そして夏を楽しむアイテムとしておススメです。下の画像は本場である京都の扇子専門店「白竹堂」のお品です。さすが京都、工芸品として驚きの値段のものもありますが（笑）素材や柄がたくさんあるので、TPOに合わせていくつかそろえるのも“粋”かもしれませんね。

誕生花：8月 ¥5,250
オンラインショップから購入可能。
<http://www.hakuchikudo.jp/>



快適を突き詰める

エヌテック代表 野坂 和志



「時代は湿度のコントロール？」
暑いですね！という挨拶を交すのもしんどいくらいの猛暑が続いていますが皆様の体調はいかがでしょう？
気温が高い夏ですが日本では同時に湿度も高いためにとても暑く不快です。常夏の島 Hawaii は気温は高いはずですが湿度が低いためにとても過ごしやすくなります。私の家ではジジが留守番している日の日中はエアコンを室温設定 28℃に設定し（賢沢猫）今は除湿機能は使っていません。皆様も使用したことがあると思いますが除湿機能を使うことだけで室温が同じでもとても涼しく快適に感じられる経験がおありだと思ひます。私も先日大阪でダイキン工業の「デシカ」を体感してきました。この「デシカ」室

内の温度と湿度の両方をコントロール出来る超グレモノ！一室は室温 28℃、湿度 70%、もう一室が室温 28℃、湿度 30%、湿度のみを 40%、差をつけて体感できるようにしています。湿度 70%の部屋はちょうど今の時期の朝方の室温、湿度です。じっとしていても首筋や腕には汗がじわっとという感じです。かたや湿度 30%の部屋は涼しくはないけれど汗も出ずとても快適な空間となっています。湿度調整だけで体感温度は大きく変わってきます。今のエアコンには除湿機能は標準装備。この機能をうまく使えばもっと快適な夏を送れますね。しかしこの「デシカ」の優れているところは冬の過乾燥を防ぎ湿度を調整する機能を装備しているところなんです。それも水を使うことなく加湿出来ることです。一体水を使わずにどうやって加湿を行うのか？ダイキン工業さんのチャレンジし製品化したその技術は恐るべしです。次回はそのメカニズムに少し迫りたいと思ひます。